【実践事例】　　スカイプログラム　９キャリア-39

「ワクワクゆめ教室」　～みんなの“ゆめづくり”を応援します～

道徳　キャリア　コミュニケーション　表現

- 実施日　令和３年３月１０日（水）
- 実施校　葛飾区立半田小学校　６年生３クラス同時進行（104 名）
- 講　師　一般社団法人日本ゆめ教育協会　認定講師 10 名（ドリームファシリテーター）
- 内　容　①「GOOD! CLAP! SMILE!」で承認の空間作り
  ②「すきなことゲーム」で自分のすきなことや、やりたいことなどを書き出し、脳内の情報を《見える化》する。
  ③「夢たんけんマップ」で《見える化》した自分の情報を深掘りし、内容を深める。
  ④「夢まとめ」夢マップをもとに、「現時点の夢」を探しまとめる。
  ⑤「夢発表」夢、理由、実現にむけて何をするかを原稿にまとめ、ペアになって発表。お互いに「いいね」で承認しあい、ワクワクツリー作成。

【児童の感想文から】
- 自分の夢が見つかったので良かったです。自分の夢に向かって頑張りたいです。
- 夢がさらに増えたし、夢が具体的になった。
- 今まで気づかなかった自分を見つけることができました。これからも夢に向かって頑張ります。
- 元々自分はマイナスなことばかり考えてしまっていたけれど、先生のおかげで勇気が持てました。
- ゆめって不思議で面白いことが分かった！夢がない人にも教えてあげる。
- 今回の授業で「夢」と言うものは人を変える原動力になるとわかり意識するようになった。
- 夢発表の時に、友達の夢を知れて、自分も頑張っていこうと思いました。
- とても楽しかったです。みんなの夢も知れて応援したいと思いました。
- 今日の授業で、夢に向かってもっと頑張ろうと思えたし、夢っていいものだと思えました。
- これから夢が変わっていくかもしれないけど、何事も最後までやりとげたいと思います。

【先生の感想文から】
- 興味のあるものについて、友達同士で確認し合い、認め合いながら取り組める内容になっていたところが良かったです。
- 講師のみなさんが、子どもたちの心をつかんでいたことで、子どもたちから恥ずかしさが消え、自分が思うことを素直に書き、夢についてより深く考えていて楽しそうでした。
- 今、夢や希望を持ちにくい子供たちがたくさんいます。楽しみながら、そういう子たちに夢や希望を持つきっかけを与えてくれてありがとうございました。

★制作・提供　一般社団法人　日本ゆめ教育協会　www.yumemap.com